

市議会だより No.51

平成30年11月15日



お笑い講の様子（山口ゆめ花博にて）

9月定例議会

議案の概要		P2～P3
一般質問		P4～P9
各特別委員会の報告		P9～P11

議会モニターからの意見		P12
議会傍聴のご案内		P13
議会日誌		P14
12月定例議会の予定		P14

議会中継がスマートフォンでも見られます!! 防府市議会 で検索



9月定例議会は、9月3日から10月1日までの会期29日間の日程で開催されました。

平成29年度一般・特別会計及び上下水道事業決算の認定、平成30年度一般・特別会計補正予算をはじめ、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正、教育長の選任など、議案22件、報告10件、認定2件、推薦1件、選任2件、を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

平成30年 9月 定例議会

人事

■教育委員会教育長の選任

退任 杉山一茂さん（大字台道）
新任 江山 稔さん（大字牟礼）

■人権擁護委員候補者の推薦

新任 山脇 宏さん（大字田島）

■固定資産評価審査委員会委員の選任

新任 恵藤 豊さん（岩田三丁目）

条例

■家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業を営む事業者が、代替保育を必要とするときの連携施設の確保義務を緩和するとともに、自園調理に関する規定の適用猶予期間の延長と食事の提供の際の外部搬入施設の拡大を行うものです。

一般議案

■土地の譲与

県が行う海岸保全施設整備事業の護岸整備用地として、大字牟礼の市有地394・11㎡を国に譲与するものです。

予算

■平成30年度一般会計補正予算

5、791万4千円を増額し、補正後の予算総額を411億9、324万9千円とする予算案が提出されました。

主な事業（補正額）は次のとおりです。

・庁舎建設事業

現庁舎敷地における市庁舎建築計画案作成委託料

（300万円）

・総合政策課管理経費

市の産業力を向上させるため、様々な分野の事業者で構成する「防府市産業戦略本部」を設置するための経費

（21万円）

・農林水産振興課管理経費

農林業関係者、農林業関係機関等で構成する（仮称）防府市農林業政策懇話会を設置するための経費

（159千円）

・教育指導管理業務

部活動の適正化を進めるために、市内の公立中学校に部活動指導員を配置するための経費。平成30年度は10名の配置が予定されています。

（155万4千円）

・文化財保護管理事業

7月の大雨により被害を受けた国指定史跡周防国分寺土塀の保存修理費の一部を補助する補助金

（734万3千円）

・空調設備整備事業

2年後の夏期までに、市内小・中学校

の全普通教室にエアコンを設置するための実施設計委託料

（5、700万円）

■水道事業会計補正予算

■工業用水道事業会計補正予算

■公共下水道事業会計補正予算

3事業会計それぞれにおいて、平成30年度で委託契約満了となる夜間・休日における水道施設運転管理等業務、検針及び滞納整理等業務に新たに料金収納等業務を追加し、委託期間を5年間として、引き続き業務委託を実施するための債務負担行為です。

また、公共下水道事業では、浄化センター及び雨水排水設備維持管理業務について、同じく平成30年度で委託契約満了となるため、従来の業務に新たに汚水中継ポンプ場維持管理業務を追加し、引き続き5年間の包括的業務委託契約を実施するための債務負担行為を設定します。

新たに料金収納業務を委託することに對し、公的責任が後退する、職員数の削減につながる、個人情報管理リスクが拡大するとして反対の意見が出されましたが、賛成多数で可決されました。

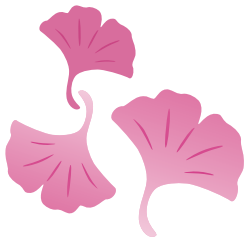
（賛否No.1～3）

水道事業 （5億3、980万1千円）

工業用水道事業 （4、658万円）

公共下水道事業 （22億352万8千円）

いずれも5年間の限度額



■浄化センター分流4号ポンプ増設工事
委託の協定
契約相手 日本下水道事業団
契約期間 平成30年9月5日から
平成32年3月31日まで
契約金額 3億4,900万円

報告

い。主な質疑内容は10ページをご覧ください
(賛否No5)

■平成29年度一般・特別会計決算
一般会計においては、行軍による職員削減に伴う職場環境の悪化や、技術職員の減少による技術の承継に問題があるとの反対意見が、また、特別会計においては、国民健康保険事業特別会計で、所得の1割を超える保険料の減額がされていないなどの反対意見が出されましたが、賛成多数で認定されました。

決算

■平成30年度特別会計補正予算
競輪事業ほか5つの特別会計補正予算を原案のとおり可決しました。

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	平成30年9月定例会	会派・議員名																				賛否の合計		議決結果					
		自由民主党 市政会					自由民主党 清流会					自由民主党			公明党		絆	日本共産党		改革	市民クラブ				爽風会	無所属の会			
		今津	宇多村	清水浩	田中敏	藤村	牛見	河杉	曽我	橋本	安村	石田	上田	松村	行重	河村	高砂	山根	三原	山田	清水力	山本	和田		田中健	吉村	久保	賛成	反対
1	平成30年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	21	3	可決
2	平成30年度工業用水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	21	3	可決
3	平成30年度公共下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	21	3	可決
4	平成29年度上下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	23	1	認定	
5	平成29年度決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	21	3	認定

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。
※松村議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

議会報告会での要望等に対する市執行部の回答

6月の議会報告会で頂いた要望等のうち、その後の議会に取り上げた事項について、市執行部の回答を紹介します。
(要望等の一部を要約しています。詳しくは、議会ホームページの議会報告会のページをご覧ください。)

要 望 等	市 執 行 部 回 答
・ 100円バスを実現してほしい。 ・ 各地域の実情に応じた公共交通について検討をしてほしい。	100円バスの実施については、バスの利用者数が現在と同じであれば2億円の負担増となり、他の福祉等の予算に影響を与える。各地域の実情に合わせた公共交通のあり方については、地域の意見をしっかりと聞き、実証実験を行い、その効果を踏まえた上で本格的な実施につなげていきたい。(7月議会一般質問)
・ 子どもが遊んだり、花を楽しめるような観光公園を作してほしい。	市には、天神山、桑山、大平山、向島と、規模も大きく用途も多岐に渡る公園があり、他市と比較して遜色はない。大規模公園について市民からの根強い要望があるのは承知しているが、財政状況等の面から、長期的課題にならざるを得ない。(7月議会一般質問)
・ みまもり隊に表彰制度を設けてほしい。	「地域の子どもは地域で育てる」という観点から、子どもの安全にご尽力いただいているみまもり隊の方々に対し、感謝の意を表し、励みにしていただくためにも、今後、自治会連合会や学校運営協議会の協力も得ながら、功績を確認し、一定の基準を設けて表彰する制度を創設していきたい。(9月議会一般質問)

Q&A

一般質問



9月定例議会では、16名の議員が市政について質問しました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。



山田 耕治（絆）

上山満之進翁の顕彰について！

問 三哲文庫跡地を、「三哲文庫 記念公園」とすべきと前回提案したが、その後の進捗はどうか？

市長 看板設置や名称の変更なども併せて行いたい。

問 陳澄波の絵画「東台湾臨海道路」については、市で管理すべきと思うがいかがか？

市長 福岡アジア美術館の館長とお話をさせていただいた。福岡アジア美術館からは、寄託契約の10年を待たずに、平成31年の秋に寄託解除することについて、快諾を得ている。上山満之進翁の生誕150年に向け、図書館で管理し、展示をする。

◆ 市の河川について！

問 災害を考慮する中で、河川の浚渫や草の管理は？

土木都市建設部長 河川管理者に浚渫などを要望したい。



管理されない河川

問 市内のポンプ施設などにカメラを設置し、河川の水位等を確認できるようにしては？

土木都市建設部長 必要性について調査研究したい。

◆ 災害時の情報伝達について！

問 防災行政無線で、聞き取り困難等の苦情と対応は？

総務部長 苦情があった場合、地元の方々と話し合い、スピーカーの向きの再調整などの対応をしている。

問 防災ラジオの苦情はあるか？

総務部長 苦情はあるが、職員が自宅等に伺い、アンテナの接続をして、対応している。



今津 誠一（自由民主党市政会）

ホウフ・ビズ開設の早期予算化を

問 ホウフ・ビズの開設は、市議会が全会一致で制定した「市中小企業振興基本条例」に基づいて設置された「市中小企業振興会議」において、全会一致で議決されている。これは市長が重要施策と掲げている「産業力の強化」と全く整合するものである。一日も早く予算化すべきでは。

産業振興部長 現在、持続可能な行財政基盤の確立のため、全ての施策をゼロベースで見直す作業を進めている。設置予定の「防府市産業戦略本部」においても多くの方の意見を伺っていききたい。

要望 振興会議は市の最高議決機関であり、そこでの議決は尊重されなければならぬ。そうであれば、議会制民主主義を軽視することになる。また、市の財政は、県内他市と比較して決して悪



エフ・ビズ視察の様子

市長 誰と会うことも拒まないいで、幅広い意見を聞いていきたい。

いとは言えない。平成29年度は、経常収支比率等の悪化が見られたが、これは円高という一時的、予測不能の要因により、法人市民税が前年比22%減ったことが主因である。市長は未だ、エフ・ビズモデルを十分理解しているとは思えない。近くエフ・ビズセンター長に会って、更に理解を深めていただきたい。

安全な学校環境と 交通系ＩＣカードの早期整備について



河村 孝（公明党）

問 熱中症対策として、小・中学校の体育館に温度計、湿度計の設置はあるか。

教育部長 小・中学校27校中、18校に設置。今後、全ての学校に設置する。

問 運動会の5月開催も検討するべきではないか。

教育長 開催時期、内容などは各学校の判断で決定している。関係者の理解を十分に得ながら、検討を進めるよう働きかけてきている。

問 学校危機管理マニュアルの運用状況は。

教育長 全学校が作成済み。運用では、事件、事故、災害などに適切かつ迅速に対処できるように共通理解し、危機管理体制の確立に努めている。

問 エアコン設置を予算措置の面からどう考えているか。

市長 市内小・中学校の普通教室376教室のう

ち、約300教室が未設置。早期整備を目指し、平成32年の夏には全ての教室に整備できるように検討する。厳しい財政状況の中で、多額の財政負担となることから、市の市長会で、本市の提案として、補助金の増額等、財政支援制度の拡充を要望した。プロジェクトチームの作業を急ぎ、今議会にエアコン設置に向けた調査費等の予算を追加提案することも検討する。

問 全国でＩＣＯＣＡ等

交通系ＩＣカードが普及する中、本市では駅やバスで利用できない状況。市民生活の向上、観光客・ビジネス客などの利便性、福祉面のために、今後の導入に向け努力を。

市長 県や関係市町と連

携して、交通事業者に働きかけを行い、導入が進むよう期待したい。

農試・農道の進ちよく状況、みまもり隊への表彰、全国版空き家バンクへの登録を！



石田 卓成（自由民主党）

問 農業試験場の誘致と小野牟礼間の農道整備の進ちよく状況は。

市長 7月に正副議長・本市選出の県議会議員と共に県へ要望を行い、知事から本市の優位性やポテンシャルをふまえて検討するとの回答があった。

誘致の確実な実現に向けて取り組んでいく。農道についても、知事から積極的に取り組むとの回答があり、県との関係会議を設置した。早期全線開通に繋げていきたい。

問 圃場整備や集落営農

法人の設立を、どのようなペースで進める考えか。

市長 佐波川沿いをはじめ、市内の優良農地で未整備となっている地区を中心に積極的に取り組んでいく。設置予定の「仮称」農林業政策懇話会の意見を聞きながら、JA等と連携し、きめ細やかな支援を行う。

問 農業関係の業務が増えるが、市の組織強化を図るつもりはあるか。

市長 農林水産業の発展に取り組むため、組織強化についても適宜、必要な体制を整えていく。

問 みまもり隊の活動に表彰制度を設けては。

市長 みまもり隊への感謝の意を表し、励みとしていただくため、表彰制度を創設したい。

問 国交省が開設した、全国版の空き家・空き地

バンクに本市も登録し、空き家と農地をセットで紹介しては？また、空き家の情報を自治会長や民生委員、農業委員などに提供してもらっては？

総合政策部長 所有者に意向調査を行うとともに、農地については農業委員会と連携しながら取り組みたい。情報提供についても、自治会長などに依頼したい。

問 平成29年の水防法改正により、要配慮者利用施設における避難確保計画作成と避難訓練の実施が義務付けられたが、進んでいるか。

土木都市建設部長 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設（社会福祉施設、学校、医療等）157施設中、116施設が計画策定済。避難訓練の実施は、平成30年3月末で35施設。未実施の施設は実施を指導する。

問 浸水の深さや避難所等に関する情報を生活空間である「まちなか」に表示する、「まるごとまちごとハザードマップ」を実施すべきではないか。

市長 本市の地形的な成り立ちなど、実情にあうか、研究したい。

問 災害廃棄物処理計画策定の進ちよく状況はどうなっているか。

市長 県のガイドライン

水防法改正への対応・災害対策 学校施設長寿命化計画



田中 健次（市民クラブ）

問 平成29年の水防法改正により、要配慮者利用施設における避難確保計画作成と避難訓練の実施が義務付けられたが、進んでいるか。

土木都市建設部長 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設（社会福祉施設、学校、医療等）157施設中、116施設が計画策定済。避難訓練の実施は、平成30年3月末で35施設。未実施の施設は実施を指導する。

問 浸水の深さや避難所等に関する情報を生活空間である「まちなか」に表示する、「まるごとまちごとハザードマップ」を実施すべきではないか。

市長 本市の地形的な成り立ちなど、実情にあうか、研究したい。

問 災害廃棄物処理計画策定の進ちよく状況はどうなっているか。

市長 県のガイドライン

に沿った計画を平成30年度末に策定する予定。

問 平成29年3月策定の「学校施設長寿命化計画」では、多額の財政負担が求められるが、市の財政状況から実現可能か。

総合政策部長 計画では、最初の5年間は3億円弱の緊急修繕を行い、その後は年間15億円弱の中規模、大規模改修や建替えを行う。厳しい財政状況だが、可能な限り対応したい。

その他の質問項目

◆防災基本条例の制定

◆公共施設マネジメント



まるごとまちごとハザードマップ
（電柱に表示板を設置する場合）

狭あい道路整備事業について 自転車保険義務化について



山根 祐二（公明党）

問 狭あいの道路に接する建物敷地の後退用地についての本市の要綱は。

土木都市建設部長 後退用地寄附の場合は、分筆費用全部を補助している。また、既存物撤去費用10万円を助成している。

問 用地寄附の実績は。

土木都市建設部長 平成26年以降では、セツトバック27件中、寄附は3件。他市に例があるが、後退用地を市が買い取ってはいかがか。

土木都市建設部長 検討していく。

問 寄附がない場合、他市では、後退用地の税金を免除し、無償で道路として使用できる使用貸借の制度があるがどうか。

市長 後退用地について議員から様々な提案があった。セツトバックが進むと本市のまちづくりが進むので、その方向で検討していく。

問 自転車と歩行者の事故で高額賠償事例が相次いでいるが本市の状況は。

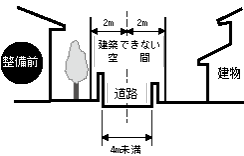
生活環境部長 平成27年から平成29年の3年間で自転車に関わる事故は173件、うち自転車加害者の事故は1件。

問 神戸市11歳男児が62歳女性と衝突、賠償額9、521万円。東京男子高校生が会社員に衝突、賠償額9、266万円。市条例で自転車保険加入を義務付けてはどうか。

生活環境部長 加入を義務付けている自治体は6府県3市ある。国や県の動向を注視し、対応する。

その他の質問項目

◆ 幼児教育・保育無償化について



防災対策の充実、 子育て支援の充実、 不育症への支援



高砂 朋子（公明党）

問 災害用マンホールトイレの設置計画と新市庁舎への設置の必要性について伺う。

市長 大規模災害時の広域避難所であるソルトアリーナの敷地内に、来年度設置の方向で協議中。庁舎は、防災・減災の拠点なので、建築計画案の中で設置について検討し、その結果を基本設計に反映したい。

問 災害時の各情報伝達の実施状況と市民への啓発、ハザードマップ活用促進、ドローンの活用について伺う。

市長 同報系防災行政無線屋外スピーカー・戸別受信機、緊急告知防災ラジオ、市メールサービス、緊急速報メール、電話・FAX配信サービスを導入。市民の皆様それぞれの実情にあった手段で災害情報を受け取っていただけるよう市広報、防災

出前講座等で普及啓発に努める。ハザードマップの周知は、いまだ不十分。一層の活用促進を図れる方策を検討。災害時には県を通じて

県産業ドローン協会へ派遣依頼を行う。



防災ラジオの申し込みは市役所、各公民館へ

問 未就園児対象の民間ボランティアで運営されている子育てサロンへの助成制度の導入を。

健康福祉部長 現場のニーズを把握し、本市独自の助成制度を検討。

問 不育症について気軽に相談できる窓口の周知と治療費助成制度の導入について伺う。

健康福祉部長 子育て応援室「まんまるほうふ」の周知を図り、助成については調査研究する。

今後の財政運営・地元産品愛用運動について



曽我 好則（自由民主党清流会）

問 平成29年に策定された「中期財政計画」では、歳出超過が続き、収支の均衡を図ることは困難とされている。これから、本格的な庁舎建設が控えているが、庁舎建設の財源確保を含め、中長期的な財政運営について伺う。

市長 本市の財政状況は実質単年度収支が4年連続で赤字のため、財政調整基金を取り崩している。庁内全体で認識の共有を図り、事業ヒアリングにも同席し、財政健全化に向けスタートを切った。庁舎建設は、国の補助制度を活用し、早期事業化を図り、他の施策への影響を抑制する。私自ら先頭に立ち、新たな歳入確保と、既存事業のゼロベースからの見直しを行い、財政健全化に取り組む。

問 通称「バイ防府運動」には、これまで積極的に取り組んでいるとされた

が、特に指定管理者や土木系の業務委託先は県外業者の割合が高く、小・中学校の修学旅行も市外の旅行代理店と契約するなど、本市の対応は不十分である。これまでの取組と現状、今後の対応を伺う。

市長 これまで市内各事業所等に市内企業への発注や地元産品の購入等を文書でお願いし、商工会議所だよりで市内店舗での買物や市内飲食店の利用についての記事を掲載。さらに、市内共通商品券発行事業にも取り組んでいる。今後も、更なる地域経済の活性化を図るため、市内業者への優先発注を進める。

要望 マツダの公用車率の向上、共同事業体の出資比率の優遇、業務委託の入札制度の見直しなど、市内企業等の優遇をお願いする。

平成29年度決算を受けての財政運営について



久保 潤爾（無所属の会）

問 平成29年度決算の実

質収支は約12億1千万円の黒字であったが、実質単年度収支は、約11億3、800万円の赤字となり、4年連続の赤字計上となった。財政調整基金（市の貯金）も平成28年度末と比較して、約11億5千万円減っている。今回の決算についての分析とこれからの財政運営について問う。

市長 実質単年度収支の赤字に関して、このような状況になった大きな要因は、市税や地方交付税等の一般財源が伸び悩む一方で、高齢化の進展等による社会保障費の増などで歳出が増加したためであると考えている。

当初予算において、複数年連続して、財政調整基金からの多額の繰入に頼る予算編成は、基金の枯渇につながることから、予算編成の見直しは

急務と考えている。歳入・歳出構造の改善に取り組むことで、財政調整基金からの繰入の圧縮を図り、実質単年度収支の改善に努めたい。

問 平成29年12月議会に

おいて財政状況を分かりやすく市民に知らせてほしい旨要望したが、平成29年度決算について、どのような周知を行っているのか。

総合政策部長 市民の目に触れる機会の多い市広報について、例年掲載している決算額等の情報に、新たに実質単年度収支や経常収支比率などの財政指標を加え、財政状況の説明がわかりやすい表現となるよう、見直しを行う。財政課のホームページにおいては、決算概況や各種数値が一目でわかるような内容を見直した。

財政運営・市民の健康寿命延伸にむけた取組・農道牟礼小野線について



牛見 航（自由民主党清流会）

問 実質単年度収支は4

年連続の赤字、歳入は横ばいながら、歳出増に陥っているが、歳出の性質別に分けた内訳は？

総合政策部長 平成25年度と平成29年度を比較すると、人件費は4・8％減少、物件費は18・9％増加、扶助費は23・2％増加、公債費は3・7％増加、国保事業や介護保険事業など他会計への繰出金は14・7％増加、投資的経費は26・8％減少となっている。

問 市外のコンサルタントへの発注数は？

総合政策部長 工事や事業計画などで市外コンサルタントを多く使っている。

問 職員の研修費の増額

についての考えは？

総合政策部長 コンサルタント料の削減で研修に回せるのではないかと

た市の取組は？

健康福祉部長 壮年期から高齢期の方を対象に生活習慣予防対策として、健康教室を開催している。20～30歳代のお母さんに対して、健康チェックコーナーを設け、栄養指導などを実施している。

問 農道牟礼小野線の整備内容と費用負担の割合、完成予定は？

市長 県営事業により平成6年度に着手、全長6・1kmのうち、3kmの区間が整備完了、7月に県知事に要望し、県から残区間の実施設計、用地測量等を実施する連絡があった。完成は2025年度と聞いているが一日も早い完成に努めたい。費用負担割合は国が30分の15、県が30分の11、市30分の4である。

防災対策について



清水 浩司（自由民主党市政会）

問 防災用語を市民に理

解してもらうための方策は？

市長 防災用語には災害の危険度が分かりにくい用語が多い。防災出前講座や防災出前授業、自主防災リーダー研修等で啓発を行いたい。

問 防災行政無線の屋外スピーカーからの放送が聞こえないという人が多いが、有効な方法である緊急告知防災ラジオの普及にもっと努めるべきではないか。

市長 防災ラジオのみならず、各種情報伝達手段の普及啓発に努めたい。

問 避難勧告や避難指示

発令のタイミングは？

市長 災害事象ごとの基準や気象予測などを参考に判断し、避難勧告を発令している。夜間・早朝に避難行動が想定される場合は、夕刻の時点において、「避難準備・高齢

者等避難開始」等を発令することになっている。

問 倉敷市の小田川堤防決壊のメカニズムは把握しているのか。

土木都市建設部長 国土交通省中国地方整備局において、小田川堤防調査委員会が設置され、検証が行われており、この検証を注視している。

問 気象庁の大雨予測情報とダム放流の連動はどうなっているか。

土木都市建設部長 島地川ダムは水位の調整ができず、佐波川ダムは下流の水位を調整している。佐波川の堤防は毎秒2、100tまで耐えられる。



防災について



和田 敏明（改革）

問 エリアメールが文字数制限（200字）により配信できなかったことへの追及。

総務部長 反省している。現在は配信可能となっている。

問 広報車や防災行政無線での伝達は聞こえづらい。ハザードマップの危険区域の住民の名前や電話番号は把握しているか。

総務部長 把握していない。災害弱者へ防災ラジカ等を普及・啓発したい。

問 なぜ避難勧告が危険区域と区域外に同時発令されたのか。

総務部長 単位自治会ごとで発令している。今回明らかにした課題について、マニュアル等を見直したい。

問 避難勧告が発令されたのにも関わらず、指定避難所である学校へ登校していた児童の保護者に対し、なぜ迎えを促した

のか。過去どれだけの犠牲者がでたのか理解されているのか。

教育長 最終判断は各校の校長が判断する。今後、学校における適切な対応の研修をしたい。

問 災害対策本部が設置された場合は、指示を一本化し、専門知識を持つ方に任せるべきでは。過去の災害で陣頭指揮を執られたOBの方にも協力をお願いしてはどうか。

総務部長 今後の検討課題としたい。

他、自助・共助の認識についてなど質問

総合交通について
・交通弱者及び交通不便地域の解消について
・ふるさと寄付金制度の活用について
・デマンドタクシー等導入の地域拡大について
・財政赤字解消のため、離島航路のダイヤの見直し等について質問

小・中学校の普通教室のエアコン設置について
道の駅潮彩市場防府について

清水 力志（日本共産党）

問 小・中学校の普通教室のエアコン設置について、7月議会の一般質問では、エアコン設置の計画に至っていないとの回答だったが、今夏の社会的背景から現在ではどのように考えているか。

教育部長 普通教室を最優先として設置までの検討に入っている。

問 エアコン設置に関する市長の考えは。

市長 児童生徒の健康が第一と考え、一日でも早く普通教室全室へエアコン設置をすることにした。遅くとも2年以内に全ての普通教室に設置する。

問 防災の観点からも災害時には避難場所になる小・中学校の屋内運動場にもエアコン設置はできないか。

教育部長 まずは普通教室へのエアコン設置を最優先と考えている。

問 道の駅潮彩市場防府

で行われるイベントについて、どのような取り組みをされているか。

産業振興部長 来場者に守ってもらいたい事項の周知、適切な人員配置、賠償責任保険の加入、避難訓練の実施や職員の普通救命講習の受講などを行っている。

意見 7月に行われたフリーマーケットでは、皆さんの管理運営が行われた。再発防止を求めると同時に、市も管理運営を委託する立場上、指導を含めて対応するべきだ。

その他の質問項目

◆介護保険料について



潮彩市場フリーマーケット

農道牟礼小野線について
子どもの貧困対策について

山本 久江（日本共産党）

問 市長は、県に対して、農道牟礼小野線の早期全線開通を要望しているが、その目的、市の負担額について伺う。

市長 本路線は、農産物の輸送の効率化により、地域農業の振興を図ることを主目的に整備され、本市にとって重要な路線である。今後整備される3期工区の市負担は1億9、586万円となる。

問 農道の維持管理等の市負担増、住民の理解、山地の自然環境に配慮した取組等の必要課題も多い。今後、どのように進めるのか。

市長 「農道牟礼小野線整備調整会議」で、県との情報共有や意見交換を行い、地元の方の理解と協力をいただきながら進めたい。

問 単独市費土地改良事業補助金交付事業の要件の緩和及び上限額の引き

上げができないか。

市長 引き続き、現在の採択要件で、要望に応えたい。

問 国に対し、米の直接支払交付金制度の復活を求める要望を行ってほしいがどうか。

市長 産地交付金をしっかりと活用していく。（仮称）防府市農業政策懇話会で、ご意見を伺い、本市農業の再生強化に向けた取組を進めたい。

問 子どもの貧困に係る実態調査はどのように進めるのか。

健康福祉部長 10月にアンケート調査票の発送等を実施し、平成31年3月末までに調査結果報告書を作成する予定である。

問 子どもの貧困対策条例を制定できないか。

健康福祉部長 先進市の動向に注視し、研究してまいりたい。

原点に立ち返り制度見直しを行う 不公平なスポーツ報奨金の支給額



三原 昭治（絆）

問 スポーツ競技の全国大会出場等についての報奨金で、高校野球と他のスポーツの報奨金額の大きな格差は、市民から疑問と正の声があるが、公平性の観点から見直すべきでは。

市長 現行の要綱が制定されて20年近くが経過し、スポーツ環境も大きく変化している。特定の大会を特殊な大会と位置づけ、交付金額をその都度決定することは恣意的になりかねないことが懸念され、制度全体の見直しを行っていきたい。

問 平成28年の甲子園出場校に600万円、女子バレー全国大会出場校は3万円（上限）で、余りにも不公平。当初、市制80周年で800万円、縁起のいい数字で700万円、そして600万円となったと聞いているが、算出根拠は。

総合政策部長 前回の防府商業を参考にした。

問 時代にあつた公正公平な制度とすべきだ。

市長 この制度は、頑張った市民の方を褒め讃えるものであり、原点に立ち返って見直していく。

問 市営住宅の家賃滞納者に対する提訴措置の基準は。

土木都市建設部理事 滞納6か月以上、滞納額20万円以上となっている。

問 これまでの提訴件数と滞納額、回収状況は。

土木都市建設部理事 平成29年度末で114件、1億3800万円。30年8月末で約3、4900万円。

問 財政が厳しいとのことだが、保証人に弁済を求めると、正当な収入に対しては、きちんと対応すべきでは。

市長 公平公正の観点から、対応について原点に立ち戻って考えていきたい。

発信力ある防府市にするためには！



橋本 龍太郎（自由民主党清流会）

地方創生が叫ばれる現在、都市間競争、連携で生き残るために防府市も発信力の強化は喫緊の課題！

問 池田市長はトップセールスをどのように考えているのか。

市長 「スピード感」を旗印として、市民の皆様の声为天の声として、スピード感をもって市政運営に努めていきたい。また、企業誘致の折衝や各種イベントに市長として現場に赴き、本市を売り込み、国や県等に対して動くことはもちろん、結果を出すことが必要。そして「日本一変わった市長」を目指す。

問 情報発信戦略について

市長 平成30年度より市内外に向けた発信力の強化のために情報発信課を新設し、同課において広告媒体の抜本的な見直し

や、新たなSNSの導入を進めている。こうした取組を進める中で本市が他市に比べ埋没することなく存在感が示せるように効果的な情報発信に努めたい。

問 市広報にもっと市民の声を反映させては？使われなくなった情報媒体の処分について

市長 市広報については、市民の皆様の声を反映させるために、今秋、市民1、500人を対象にアンケートを実施し、今まで以上に市民に愛される市広報を目指したい。また、消防庁舎の電光掲示板については、使わなくなり2年が経つので、市民の皆様に不安を与えることのないよう早急に撤去を進める。

上下水道事業決算特別委員会の報告

（8月9日開催）

■水道事業

問 管路の耐震化率は、平成29年度末で20・6%だが、今後の耐震化計画は。

答 老朽管更新の際、耐震管に敷設替えを行い、施設の被害を最小限にするよう、計画的に進めている。水道ビジョンでは、目標年次である平成31年度の耐震化率を20%と定めており、この目標は達成。

問 目標達成はしているが、20%程度の耐震化率では危うい。次期水道ビジョンの見直しについての考えは。

答 耐震化率の目標値をさらに高く設定したい。

問 水道料金の推移と今後の見通しは。

答 最後に料金改定を行ったのは平成13年で平均9・8%値上げ。水道事業の経営状況は良好であり、今後10年程度は現行料金を維持できると考えている。

■公共下水道事業

問 近い将来、使用料の値上げをしなければならないという話を聞くが、いつ頃になるのか。

答 下水道事業の経営状況は非常に厳しく、一般会計からの繰入で収支を保っている。国からは、平成38年度までに概ね下水道整備を完了するよう求められているため、期間内に予定処理区域内の工事を完了させたい。加えて、既存の施設や管路の長寿命化対策にも取り組まなければならない。あと5年くらいの内には赤字になる見込み。よって、5年以内には、使用料の値上げを実施しなければならないと考えている。

■決算を承認

「当初予算審議の際に、平日の夜間や土日における水道施設運転管理業務の民間委託に反対したが、その予算が執行されているので、決算の認定に反対する」との意見がありましたが、賛成多数により承認しました。

一般・特別会計決算特別委員会の報告

(9月19～21日開催)

■一般会計

・決算全般

問 実質単年度収支は4年連続で赤字だがその原因は。

答 法人市民税の減少やクリーンセンターの建設に係る公債費で元金の償還が始まったことが大きく影響している。

・空き家等対策事業

問 空き家が年々増加しているが、どのような課題があるか。

答 登記簿や戸籍調査を行っても、空き家の所有者が不明で、解決することが困難な案件が増えていることが挙げられる。

・生活困窮者自立支援事業

問 学習支援事業について、効果など、どのような状況であったか。

答 事業に関するアンケート調査を実施し、ほとんどの方からは、良い評価をいただいている。

・ふるさと寄附金推進事業

問 寄附件数が平成28年と比較して半数以下となっているが、その要因は。

答 総務省から、返礼品は寄附額の3割以内とする旨の通知があり、本市では平成29年10月から3割以内に見直している。この返礼品の見直しに影響したものと考えている。

・公営住宅ストック総合改善事業

問 市営住宅は老朽化が非常に進んでいるが、改善や建替え等、入居者の方の声に十分応えられているか。

答 公営住宅等長寿命化計画に基づき改修工事を行っているが、計画どおりに進んでいないのが現状である。しかし、緊急を要する修繕等は最優先で行っている。

■競輪事業特別会計

問 施設の老朽化が進んでおり、将来的な建替えや、改修等にかかる予算の確保が極めて重要だが、どう考えているか。

答 多額の費用がかかり、現在の基金残高では厳しい状況である。基金は今後もしっかりと積み立てるが、同時に、施設規模も検討する必要がある。

■国民健康保険事業特別会計

問 人間ドック利用助成事業については、受診件数が年々減少している。今後受診件数を向上させる予防対策は。

答 人間ドックとは別に、特定健康診査も実施している。特定健康診査については、個別受診とは別に、がん検診と併せた集団検診でも受診できるよう、受診機会の拡大を図っている。いずれの検診についても、今後、更なる周知に努めていく。



■介護保険事業特別会計

問 介護予防・生活支援サービス事業については、どのような状況か。

答 向島地区での「幸せます健康くらぶ」

は、介護予防と買物支援を一体的に提供するサービスで、全国的にも新しい形のサービスとして、高い評価をいただいている。

■青果市場事業特別会計

問 青果市場の取扱高は年々減少している。対策を考えているのか。

答 青果市場は、安全・安心で新鮮な野菜等を市民に供給するとともに、適正な価格形成や零細農家等の出荷先として、重要な施設だと認識しているので、運営を継続したい。

■採決の結果

「一般会計においては、職員数が削減される中、技術職員の不足が深刻化し、技術力の継承が難しくなっていることや、権限委譲、業務量の増大により、職場環境が厳しくなっていること、また、国の社会保障制度改悪と連動した福祉施策などが執行されていること、特別会計では、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療の各事業の当初予算の審査の際に過重な負担の軽減を求めたが、実施されていないことから、決算の認定については承認できない」との反対意見がありました。

また、一方では、「一般会計、特別会計とも、今後見直しを要する部分は多々見受けられるが、少ない予算や人員体制の中で求められたニーズにしっかりと応え、事業実施されていることを評価し、承認する」との賛成意見がありました。採決の結果、賛成多数により承認しました。

総合交通体系調査特別委員会の報告

(8月22日開催)

今回は、3項目について執行部から説明を受け、質疑等を行いました。

■「(仮称)防府市地域公共交通路線再編計画」の策定

再編計画策定に向けた地域住民等との協議についての委員からの質問に対し、「地域住民との懇話会の1回目は、主に自治会長にお集まりいただいたが、今後、検討する中で、必要に応じて民生委員やバス利用の方などにもご参加いただきたいと考えている。

また、様々なご意見をいただくため、現在、高校にも出向き、お話を伺っている。通勤・通学でバスを利用される方の需要もしっかりと把握するため、アンケートの実施も含め、様々な手法を考えていく」との答弁がありました。

■路線バスの利用促進等に関する取組

「観光客の利用促進策は」という委員からの質問に対し、「観光客も重要なターゲットだと考えているので、路線バスを利用した旅をPRするなど、観光の楽しみ方の1つとして路線バスを提案できるように、今後、協議・検討する」との答弁がありました。

■野島航路の現状と取組

野島航路について、島民への運賃半額助成の利用状況や、新しい船の建造に関する今後の予定等について、説明がありました。

庁舎建設調査特別委員会の報告

(8月23日開催)

今回は、市長改選後、初めての委員会となるので、市長同席のもと開催しました。

最初に、駅北公有地または現庁舎敷地に庁舎を建てた場合の新庁舎建設比較検討資料が提示され、工事期間や事業費などについて説明を受け、その後、改めて市長の考え方を伺いました。

市長は、「職員、市民の皆様の生命が第一であり、1日も早く耐震性のある庁舎建設が必要であることや、厳しい財政状況の中、庁舎建設による市債の増が、他の施策に影響を与えてはならず、毎年の返済は、これまでの平均的な基金積立の範囲内にするべきで、

新庁舎の供用開始が5年早く、総事業費が約8億円安くなる現庁舎敷地に建て替えたい」との意向を示されました。また、「耐震化が未実施の本庁舎建て替えを対象にした「市町村役場機能緊急保全事業」の期限が2020年度となることから、国に対して、事業の継続を強く要望していきたい。さらに、駅北公有地の活用については、庁舎の位置を現庁舎敷地に決める事で、スピーディーな対応が可能となり、早く具体化できる」との考えを示されました。

◆ 両敷地案の比較

- ・実施設計着手及び庁舎供用開始の予定時期

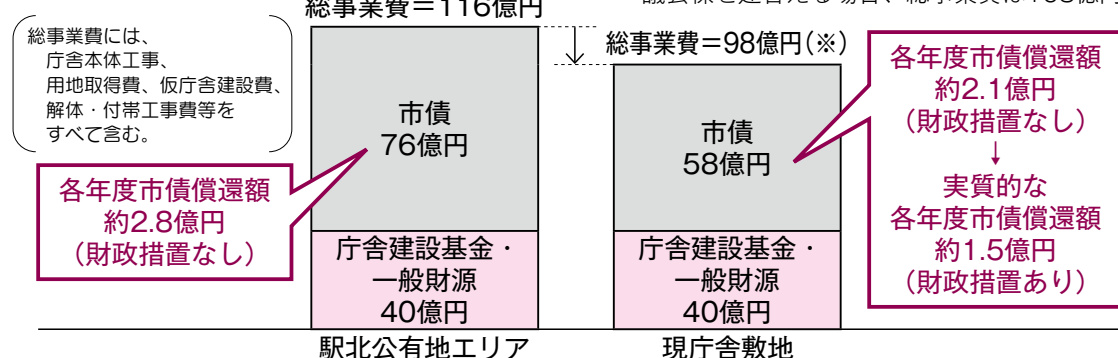
	駅北公有地エリア	現庁舎敷地
実施設計着手	2025年度(※)	2020年度
庁舎供用開始	2030年6月	2025年6月

※用地取得等が順調に進んだ場合

- ・財源構成と後年度負担(市債償還)

※議会棟の建替えをしない場合

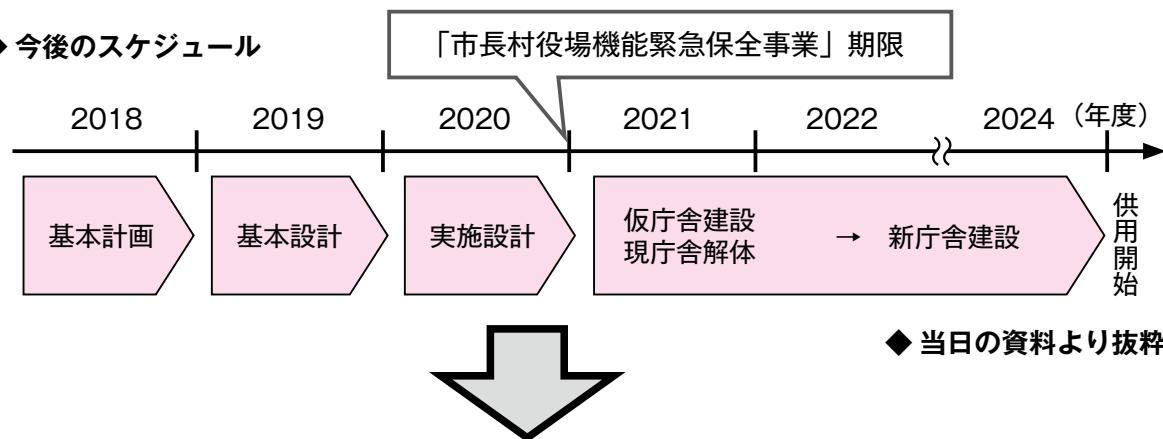
議会棟を建替える場合、総事業費は108億円



委員からは、「今後、様々な計画等が策定されることになるが、市民への周知をしっかりとっていただきたい」との要望がありました。

- 早期完成(早く)……現庁舎敷地の方が、5年早く供用開始できる。
- 事業費抑制(安く)……現庁舎敷地の方が、8億円事業費が安い。

◆ 今後のスケジュール



◆ 当日の資料より抜粋

市庁舎建築計画案の補正予算案が可決成立

- ・現庁舎敷地を建設地とする市庁舎建築計画案作成委託料の補正予算が提出され、全会一致で可決されました。

予算委員会において、「現在、契約中の比較検討資料策定業務委託料、約1,540万円のうち、未着手の約500万円と今回の補正額300万円の計800万円で、現庁舎敷地での市庁舎建築計画案を作成するが、これは基本計画と理解しているのか」との質疑があり「現庁舎敷地での実質的な基本計画で、来年度以降作成する基本設計へとつなげていきたい。また、用地測量や地質調査など基礎的調査を行い、今年度末までは建築に係る諸条件の整理を含め検討したい。平成31年度以降に作成する基本設計等の業者選定については、プロポーザルなどの提案型を考えている」との答弁がありました。

山口県市議会議員研修会

（8月10日 山陽小野田市）

第19回山口県市議会議員研修会が山陽小野田市文化会館（不二輸送機ホール）で行われました。

当日は、山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授の江藤俊昭氏による「地方議会のあり方―住民自治の根幹としての議会を 작동させる」と題した講演がありました。また、午後からは、ONODAグラスアンサンブルによるガラス楽器の演奏に続き、東海大学文化社会学部広報メディア学科教授の河井孝仁氏による「地域の魅力を創る取り組み―シティブロモーション」という発想」の講演がありました。議会からの政策、まちの魅力からの地方創生など、本市においても考えさせられる研修内容でした。



講演の様子

【お知らせ】

市議会議場でコンサート

第18回防府音楽祭「ほうふニユーイヤーコンサート」のオープニング街角コンサートが、天神ピアなど市内7カ所で開催されます。

市民の皆様に議会を身近に感じていただけるよう、市議会議場で6回目となるコンサートを開催します。今回は、石垣征山さんによる尺八演奏、松本さくらさん、山下陽子さんによるヴァイオリン演奏、喜多村裕美さんによるピアノ演奏をお届けします。

演奏者によるわかりやすい曲の解説や楽しいトークも予定されています。小さなお子様とご一緒の方も、お気軽にお越しください。

日時 平成31年1月11日（金）12時～13時
場所 市役所議会棟議場
入場料 無料



平成30年の議場コンサート

議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。
（内容は要約しています。詳しくは、議会ホームページの議会モニターのページをご覧ください。）

意 見	回 答
「ほうふ市議会だより」掲載内容についての提案 ①一般質問欄に顔写真を追加 ②各常任委員会や特別委員会の内容報告に質疑等の掲載 ③視察報告に写真の掲載 ④裏表紙の掲載内容は議会の予定・編集後記のみを残し、議会や議会だよりへの意見、テーマを決め「ひとこと」などを掲載 ⑤紙面を増やしても掲載を検討してほしい内容 ・市議会からの提言書（主要な課題について、討論を重ねての提言） ・市の事業評価（議会としての評価・継続可否等） ・政務活動費の報告	市議会だよりへのご提案ありがとうございました。議会広報編集委員会へ伝え、今後の編集の参考にさせていただきます。 ※本号より、一般質問欄に議員の顔写真を掲載しています
議場コンサートに参加。議席で聴く音は最高でした。年1回の開催ではいけない。議場でのコンサートは、議会が市民に近い位置になれる機会だと思います。	議場でのコンサートにお越しいただいてのご意見、ありがとうございます。アーティストの皆様は、いずれもプロの方で、会場内の受付、ご案内等のお手伝いを議会改革推進協議会でさせていただいておりますが、今後も、市民の皆様に市議会を少しでも身近に感じていただけたらと思っております。 年1回以上の開催をとのご意見ですが、現在のところ、難しい状況であることをお伝えいたします。
傍聴できる項目に、新たに新教育委員の所信表明を加えていただきたい。	ご意見ありがとうございます。 当市議会では、本会議、委員会及び全員協議会を原則として公開するとともに、その他の会議も公開に努めております。しかしながら、ご要望の「新教育委員の所信表明」につきましては、「候補者の人となり」を理解することを目的としており、前段の「会議」とは異なることから、現段階での公開は考えておりません。

市議会の傍聴に行こう！

定例会の日程を確認

市議会だよりの裏表紙や、市議会ホームページで開催日程を確認できます。
一般質問の内容は、定例会開会日の翌日までに市議会ホームページへ掲載します。



本会議場の傍聴受付へ

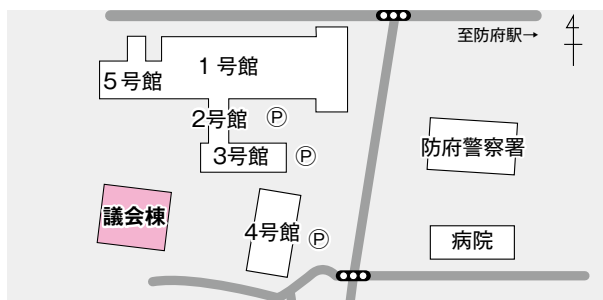
議会棟の玄関から入って、右手にあるエレベーターで3階まで上がり、案内標識にしたがって傍聴受付へお進みください。



受付して傍聴!!

傍聴人受付簿に住所、氏名を記入し、傍聴券の交付を受け、傍聴席へご着席ください。
傍聴券の裏には撮影や拍手の禁止などの傍聴規則を記載していますので、ご確認ください。

防府市議会では、どなたでも気軽に議会を傍聴することができます。
市民の皆様が選んだ議員が、市政運営のために、条例・予算等をどのように審議しているのか、ぜひ、ご覧ください。
本会議のほか、常任・特別委員会、全員協議会、議会運営委員会なども傍聴することができます。
また、車イスの方や、聴覚障害等をお持ちの方（※）も本会議を傍聴することができます。※手話通訳をご利用いただくことができます。傍聴希望日の7日前までに議会事務局へお申し込みください。（本会議のみの傍聴となります。）



タブレット、スマートフォンなどで
本会議の中継が見られます

防府市議会では、開かれた議会の一環として、インターネット中継のライブ録画映像を配信しています。
タブレットやスマートフォンなどからも、ご覧いただけるようになりました。

《アクセス方法》

- ① **防府市議会** で **検索** し、
「防府市議会—防府市公式ホームページ」をタップ。
 - ② 防府市議会のトップページから
「議会中継はこちら」をタップ。
 - ③ 「議会中継のページは
こちらからご覧ください。(外部リンク)」をタップ。
- **最新の録画を見る**
 - **会議名から選ぶ**
 - ④ ■ **ライブ中継** から選択し、タップ。
 - **議員名から選ぶ**
 - **条件検索**

◆ 防府市議会中継

最新の録画を見る 会議名から選ぶ ライブ中継 議員名から選ぶ 条件検索



←こちらからアクセスできます

議会日誌

8月

- 9日 上下水道事業決算特別委員会
議会改革の視察受入(兵庫県たつの市)
広報編集委員会
- 10日 山口県市議会議員研修会
- 16日 議会改革の視察受入(長門市)
- 17日 議会改革推進協議会
- 22日 総合交通体系調査特別委員会
広報編集委員会
- 23日 庁舎建設調査特別委員会
全員協議会
- 28日 勉強会
- 29日 議会運営委員会

10月

- 1日 9月定例議会閉会
広報編集委員会
- 9日 議会改革推進協議会
- 15日 広報編集委員会
- 17日 教育民生委員会行政視察(～19日)
- 19日 総務委員会(所管事務調査)
議会改革の視察受入(兵庫県芦屋市)
- 23日 広報編集委員会
- 25日 議会改革推進協議会
- 31日 産業建設委員会行政視察(～11月2日)

9月

- 3日 9月定例議会開会
広報編集委員会
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 13日 予算委員会(全体会)
- 14日 常任委員会・予算分科会(総務・教育民生・
産業建設)
- 19日 一般・特別会計決算特別委員会(総務)
- 20日 一般・特別会計決算特別委員会(教育民生)
- 21日 一般・特別会計決算特別委員会(産業建設)
- 26日 予算委員会(全体会)
勉強会
議会運営委員会

12月定例議会の予定

- 11月28日 本会議(開会)
- 12月 3日 本会議(一般質問)
- 4日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 11日 予算委員会(全体会)
- 12日 常任委員会・予算分科会(総務)
- 13日 常任委員会・予算分科会(教育民生)
- 14日 常任委員会・予算分科会(産業建設)
- 18日 予算委員会(全体会・採決)
- 21日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記

今回の表紙では、9月14日から11月4日まで好評のうちに開催された「山口ゆめ花博」の中で、10月8日の「防府の日」に行われた「お笑い講」を取り上げました。当日は、天候に恵まれ、多くの来場者が訪れており、森のピクニックゾーンのステージ上で、本市のPRイベントが繰り広げられ、大勢の観客から喝采を浴びていました。議会モニターの方からの提案により、この51号から、一般質問のページに議員の顔写真を掲載することになりました。

現メンバーでの議会だよりの編集も、今回が最後となりました。1年間、ご支援いただき、ありがとうございました。ごさい

ました。これからも議会だよりが市民の皆様、に親しんでいただけるように、後任の委員に託したいと思っております。

議会広報編集委員会

◎清水浩司

◎久保潤爾

河村 孝

曾我好則
橋本龍太郎

(◎委員長、○副委員長)

